

第 25 期（令和 3 年度）

事業計画

（令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで）

1. 経営方針

1) 基本方針
①全ての来訪者から愛される日本一の日帰り温泉施設を目指します。 ②来訪者の安全と快適性を最優先し、清潔で明るい温泉施設として、質の高いサービスと、心身の癒しが体感できる施設を目指します。 ③川根温泉が地域の核となり、地域の行事やボランティア活動に積極的に関わりをもち、地域貢献を目指します。 ④温泉の魅力を活用するための調査研究及び啓発活動を行い、誘客事業につなげていきます。
2) 行動指針
①安全な場所、やすらぎを感じる空間を作り出すために安全を最優先します。 ②相手の立場にたった、親しみやすく、心を込めたおもてなしをします。 ③旺盛な探究心、好奇心を持ち、創意工夫を心がけます。

2. 事業活動方針

1) 事業展開のビジョン
<p>川根温泉ふれあいの泉の開設から 22 年が経過し、温泉を取り巻く環境は大きく変わってきています。ピークの平成 14 年度には年間約 44 万 3 千人を数えた入館者数は、常連客の高齢化が進むとともに川根地区の人口減少が進み、同一商圏内への同業施設の開業や施設の老朽化などが相まって、右肩下がりに減少しています。加えて、世界中を震撼させているコロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令によって、一時休館を余儀なくされるなど、大変厳しい経営状況となっています。</p> <p>コロナウイルス感染予防対策は、国・県・市の支援、指導を受けて、できることは全て行い安心して施設をご利用いただけるよう努めておりますが、感染リスクを恐れて、来館を控える風潮があり、令和 2 年度の入館者数は、対前年比 63.5%となっています。</p> <p>川根温泉は、県内一の泉質と湧出量を誇りますが、利用者のニーズが多様化する中で、温泉だけで人を呼び込むことには限界があります。川根地区には、特産のお茶や椎茸といった農産物をはじめ、乗馬、パラグライダー、カヌーなどの魅力的な観光資源があります。川根温泉を核として、地域の関係者との連携を強め、こうした観光資源を磨き上げ体験メニュー化することで、多くの観光客を取り込んでいきます。</p> <p>また、蓬萊橋「897.4 茶屋」や「KADODE OOIGAWA」をはじめとする観光施設、大型商業施設と連携することで、市内を周遊させる取り組みも充実していきます。</p> <p>一方で、入館者が減少する中で安定した経営を継続するためには、客単価を上げていくことが求められます。コロナ禍でも人気の高いコテージの食事付き宿泊プランの設定や BBQ プランの見直し、テイクアウトメニューや通販商品の充実等、新たな企画に取り組んでいきます。</p> <p>ウィズコロナ、アフターコロナを見据えながら、川根温泉建設の原点である「健康増進」「地域振興」「交流促進」を今一度強く意識して、「日本一の日帰り温泉施設」を目指していきます。</p>